

ENVI5.5 SP 2 リリースノート

Note

最新の情報に関しては、下記のリンクを参照してください。

<http://www.harrisgeospatial.com/SoftwareTechnology/ENVI.aspx>

これらリリースノートは次の項目に分かれています。

- ENVI5.5 SP 2 のサポートプラットフォーム
- ENVI5.5 SP 2 の新機能
- ENVI5.5 SP 2 で修正された問題

ENVI5.5 SP 2 のサポートプラットフォーム

ENVI5.5 SP 2 のサポートプラットフォームを以下の表に示します。

これからソフトウェアをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、ライセンス認証にはネットワークカード (NIC もしくは Ethernet) が必要になります。

プラットフォーム	ハードウェア	オペレーティングシステム	サポートバージョン ^b
Windows	Intel / AMD 64-bit ^a	Windows	8, 10
Macintosh	Intel 64-bit	OS X	10.11, 10.12 ^c
UNIX	Intel / AMD 64-bit	Linux	Kernel 2.6.32 glibc 2.12

^a: ENVI5.3 より Windows は 64-bit OS のみのサポートとなります。32bit モードの ENVI を起動する場合は、「ENVI5.5/IDL8.7 インストールガイド」の「Windows 版 ENVI / IDL の起動方法」をご確認ください。

b: サポートバージョン中の記載は、ENVI / IDL の構築・テスト環境を示しています。弊社による公式のサポートは、表に記載されたインストール環境に対して適用されません。なお、記載のバージョンとバイナリ互換のある環境（例えば、UNIX の Kernel 3.10.0 など）であれば ENVI / IDL のインストールおよび実行が可能であることを確認しております。

c: Macintosh 版のインストールには、Apple X11 X-window マネージャが必要となります。X11 がインストールされていない場合は、XQuartz よりインストールを行ってください。XQuartz2.7.11 にて動作確認されています。

推奨環境：

本製品を快適に利用するために 1GB 以上のメモリを持つグラフィックボードの搭載と、バージョン 2.0 以降の OpenGL のマシン環境を推奨します。また、搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。ヘルプシステムは HTML5 対応ブラウザを必要とします。

ライセンスサーバーのサポートプラットフォーム

本製品をフローティングのライセンスのサーバー機として使用する場合には、ライセンスサーバー（Flexnet License Server）を使用します。そのライセンスサーバーのサポートプラットフォームを以下の表に示します。なお、MacOS はフローティングサーバーとしては動作いたしません。

ライセンスサーバーをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、フローティングライセンスに関しても、ライセンス認証にはネットワークカード（NIC もしくは Ethernet）を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	CPU アーキテクチャ	サポートバージョン
Windows 64bit	x86-64	Windows Server 2008, 2012 Windows 8, 10
Linux	x86-64	Cent OS 6.x Cent OS 7.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.x Ubuntu 16

また、現行の Flexnet License Server 2017.08 の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
DISK	500MB
RAM	4 GB
CPU	2GHz – 2 Cores

その他：

搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。各製品の Help は HTML5 対応ブラウザを必要とします。

ENVI5.5 SP 2 の新機能

詳細は以下のページを参照ください。

https://www.harrisgeospatial.com/docs/using_envi_WhatsNew.html

ENVI5.5 SP 2 で修正された問題

ID	解 説
ENVI-71566	Seamless Mosaic GUI が拡大できなかった。
ENVI-71647	ENVI モデラーのチュートリアルファイルが「キーが存在しません」というエラーメッセージでクラッシュした。
ENVI-71665	ビュー範囲のストレッチに関するピラミッドファイル要件がヘルプに記載されていなかった。
ENVI-71669	Linux RPM ファイルインストーラの許可設定により、ENVI タスクエンジンプロセスがバッファライセンスまたは手動でインストールされたサーバーライセンスファイルを使用できなかった。
ENVI-71670	シームレスモザイクツールは長いファイル名またはパス名を処理できなかった。
ENVI-71673	ROI がロードされていても、Compute Statistics ツールで ROI / EVF オプションが利用できなかった。

ENVI-71677	ENVI Topographic Modeling Task は出力ラスターデータ値に NaN を返した。
ENVI-71714	Sentinel-2 フィルタ機能は、2A または 2B の ESA のものと一致しなかった。
ENVI-71716	アルファチャンネル付きの PNG 画像でデータ無視値を設定すると、すべてのデータ値が 0 に設定された。
ENVI-71742	ベクトルの属性ビューアは日本語の文字を正しく表示できなかった。
ENVI-71746	陰影地形図ツールのデフォルトのカーネルサイズが 3 から 2 に変更され、空の出力になった。
ENVI-71774	ENVINITF メタデータ API ルーチンは TRE 値と説明フィールドが入れ替わっていた。